

# IT21 の会(平成 21 年 5 月) 第 132 回例会議事録

日時: 平成 21 年(2009 年) 5 月 1 日(金)18 時 30 分-20 時 30 分

場所: 日本技術士会 葦手第二ビル 5 階 A・B 会議室

出席者: 18 名

配布資料:

- 0905-0 (社)日本技術士会 CPD 行事参加票
- 0905-1 私の「失敗」談
- 0905-2
  - 日本技術士会、情報処理学会第 3 回 CPD コラボ
  - 「IT 投資マネジメントの基本」講座のご案内
  - 5 月度技術士 CPD 中央講座
  - 「技術士倫理実務講座」のご案内
  - 5 月度技術士 CPD ミニ講座のご案内
  - 「最近の太陽光発電と環境に関する動向と課題」のご案内
- 0905-3 (社)日本技術士会登録グループ IT21 の会 第 12 期活動報告
- 0905-4 13 期役員選挙・被選挙人名簿(会員にのみ配布)
- 0905-5 12 期一般会計収支・支払報告書 暫定版
- 0905-6 IT21 の会会則改定案

議事

## 1. IT21 役員からの連絡(加納会長)

- 広報委員募集中
- 新IT21 ロゴに採用された小牛田さん、岡田さんにそれぞれ四千元、千円のアマゾンギフト券を進呈した。
- 技術士試験ポスターがあるので、希望者に配布している。会社等に掲示して欲しい。

## 2. CPD コラボの案内(黒澤氏)

- 日本技術士会、情報処理学会第 3 回 CPD コラボ講座のご案内
  - 日付: 2009-06-20

- 場所: 葦出第二ビル5階 A,B 会議室
- 議題: 「IT 投資マネジメントの基本」
- 平成 21 年 5 月技術士 CPD 中央講座のご案内
  - 日付: 2009-05-16
  - 場所: 虎ノ門パストラル新館5階「ローレル」
  - 議題: 「技術士倫理実務講座」
- 5 月度技術士 CPD ミニ講座のご案内
  - 日付: 2009-05-20
  - 場所: 葦出第二ビル5階 A,B 会議室
  - 議題: 「最近の太陽光発電と環境に関する動向と課題について」
- CPD 認定会員の CPD 監査の結果、倫理関係の CPD 登録をしている人は極めて少ないので、ぜひ参加して欲しい。

### 3. 講演(丸山成人氏)

テーマ: 私の失敗談

丸山氏の失敗談をもとに、次に活かすためにはどのようにしたら良いか解説があった。

#### (1) 失敗の定義

- 普通はできることが、できないこと。(wikipedia より) 織り込み済みの失敗、結果としての失敗、回避可能であった失敗。
- 失敗の原因 入力ミス、判断ミス、記憶ミス、動作ミス  
心理学では、前者3つを「ミステイク」、後者1つを「アクションスリップ」という。
- ヒューマンエラー 主に入力ミス、判断ミス。機械やコンピュータと人間が一緒に働いているシステムで人間が犯すミス。機械が何万倍にも被害を広げてしまう可能性がある。集団でも声の大きな人にひきずられる、などのヒューマンエラーが起こり得る。
  - フールプルーフ: 人間の間違いを警告、複数の手順を経て実行
  - フェイルセーフ: ミスした場合の事故を最小限に防ぐ
- 記憶ミス
  - 記銘の失敗: 覚えられない
  - 保持の失敗: 記憶が歪んだり、消えたりする
  - 想起の失敗: 思い出せない
- 動作ミス(アクションスリップ) 動作の実行段階での失敗。例: ついいつもの通いなれた道に間違っ て 行ってしまう。
- ミスったときの対処

- 技術的エラー:果たした職務が要求レベルより低かった。→寛大に!
- 規範的エラー:怠けたりして職務を果たさなかった。→厳しく対処!
- 日本ではしばしば、単純ミスに厳しく、故意的なものに甘い傾向があるが逆にすべき。

## (2) 私の失敗談

- Web アンケート・1
  - 失敗:SSL 忘れ
  - 原因:テスト環境と本番環境の違いを認識不足
  - 対応:リンクの記述をフルパスに変更
- Web アンケート・2
  - 失敗:急激な web アクセス集中によりサイトがダウン
  - 原因:初の web アンケートのアクセス数を稼ぐため、数十万ユーザに向けて案内メールを送信してしまった
  - 対応:アクセス制限を実施
- Web アプリケーション・1
  - 失敗:アクセス不能
  - 原因:スレッド数不足(デフォルトのまま運用)
  - 対応:スレッド数の割当て変更
- Web アプリケーション・2
  - 失敗:利用者数が増えるとシステム応答なし
  - 原因:レスポンス低下によりユーザが何度もボタンを押し、処理要求が溜まった。DB のデッドロックも発生した。思い込みにより、別のところばかり調べてしまい、原因にあたりつくのが遅れた。
  - 対応:二重起動の防止。アクセス数に制限。DB のデッドロックが発生しないように修正。
- Oracle 設定ミス
  - 失敗:DB 接続が不安定
  - 原因:OS の扱える 1 プロセス当たりの最大メモリを超えて割当て
  - 対応:Oracle に割り当てたメモリを 1.3GB に減らした
- F/W 超えの Windows ファイル共有
  - 失敗:共有フォルダにアクセスすると、先に共有フォルダにアクセスしていた人の接続が切れる
  - 原因:NAT 環境下では 445 番ポートを使ったファイル共有は 1 セッションしか確立できないという制限があった
  - 対応:FW で 445 番ポートを閉じた

### (3) 失敗学

- 失敗学とは起こってしまった失敗に対し、責任追及のみに終始せず、直接原因と根幹原因を究明する学問のこと。
- 失敗に学び、同じ愚を繰り返さないようにするにはどうすればいいかを考える。
- 失敗学の核は以下の3つ。
  - 原因究明 (CA: Cause Analysis)
  - 失敗防止 (FP: Failure Prevention)
  - 知識配布 (KD: Knowledge Distribution)
- 失敗知識データベース
  - <http://shippai.jst.go.jp/fkd/Search>

### (4) 質疑応答

- Q. Oracle の排他制御したとき、キューに溜まってしまいう処理が発生すると思うが、それによりトータルの処理時間は伸びなかったか？
- A. 処理時間は測定していなかった。
- Q. どうやって必要なバグ情報にたどり着いたか？
- A. インターネットの検索で。偶然。
- C. バグ情報は (NDA との絡みで) 公開できないものがある。
- C. 公式のサポートで得た回答ではそうだろうが、web など公知のものは問題ないだろう。
- Q. 失敗学会というのがあるらしいが…。
- C. 入っている。詳しくは web を見て欲しい。
- Q. この経験を活かせたか？ 後輩等他人に伝えられたか？
- A. 報告書にはした。しかし整理できていない。
- C. 整理していないメモ程度でも、有りかを共有できれば役立つ。

## 4. 12 期総会

### (1) 会計報告(丸山役員)

- 暫定版の会計報告を実施。5 月末に締めて、6 月例会にて再度報告する。
- 諸雑費について 諸雑費として、郵便料金、手数料等として ¥8,000 を予算計上していたが、実績は ¥40,601 であった。これは、下記支出によるところが影響している。
  - 例会録音用 IC レコーダの購入 (12 期活動方針『例会に参加出来ない方にも臨場感を与えよう』の一環として)

- IT21 の会ロゴデザインコンペの謝礼（去年の超過分を会員還元を目的として実施）
- 石田正浩氏の会費過払いに対する返金

Q. 繰越金が増えてしまったが、どうすればよかったと思うか？

A. 本来はトラブルが多かった ML サーバのグレードアップなどに使おうと計画していたが、シンポジウム等に使った方がいいという意見に落ち着き断念した。

## (2) 12 期活動報告(古瀬役員)

- 12 期の例会など活動報告を実施。

## (3) 会則改定案(加納会長)

- 変更条文の説明。
  - 非技術士会会員の者は IT21 の会の ML、SNS に参加できない
- 全会一致で採択。

## (4) 13 期役員選挙(加納会長、石井役員)

- 立会人として IT21 非会員の小田氏立会いの下、役員選挙を実施。
- 結果は別途 IT21 メールングリストにて公開する。

## 5. マニュアル整備のご報告(中嶋 HP 委員)

- 中嶋 HP 委員よりマニュアル整備の現状についての報告があった。

## 6. 初参加者の自己紹介

- 小田 康雄 氏

以上(記載者: 石井利教)